

## 令和5年度 外部評価シート

施設名	播磨中央公園	現指定管理期間	令和2年～令和6年(5年間)
指定管理者	兵庫県園芸・公園協会	選定方法	公募

## 1 評価項目ごとの評価 (対象期間：令和2年～令和4年)

評価項目	評価
維持管理業務	<p>本公園は、家族連れや学校遠足等で賑わう大型遊具を整備した「子どもの森」や「子どもの小川」、季節の花々を楽しむことの出来る「ばら園」や「桜の園」等、多彩な施設を有している。開園から40年が経過し、施設の老朽化が進行しているものの、日常の保守点検・警備・修繕業務等は適切に実施している。特に、芝刈等の植栽管理や小川、噴水の清掃等は事業計画を超える維持・管理を行っており、公園利用者の安全と快適性の確保に努めている。</p> <p>また、本公園の主要施設であるばら園では、「ばら園魅力アッププロジェクト」に取組み、花と緑のまちづくりセンターとの連携のもと、管理水準書で規定する900本を上回る2500本のばらを管理し、生育・枯損の現況調査を行い、補植を実施している。</p> <p>公園利用者アンケートによると、「花壇や樹木等の植栽の手入れ」については高い満足度を得ている。一方で、「公園内の清掃(トイレ・園路・広場等)」については、令和2年度は他の項目と比較して満足度が低かったが、指定管理者が改善を行ったため、令和4年度の満足度は上がっている。また、「スポーツ施設、遊具などの管理状況」については、令和3年度は遊具の改修工事の関係で一時的に満足度が下がっていたが、令和4年度には回復している。</p>
運営業務	<p>本公園では人と自然の博物館や兵庫県オリエンテーリング協会等と連携した自然体験推進プログラムや子ども向けのイベントの実施、ばら園を生かした「はりちゅうばらまつり」など公園の特性や自然資源を活かしたイベント等を実施している。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、当公園最大のイベントである「はりちゅうの日」を令和2、3年度は中止したが、令和4年度に再開している。地元自治体や商工会等による実行委員会形式による地域連携で開催し、ステージイベントや北播磨地域のB級グルメを提供するなど、地域の活性化や経済に寄与する内容である。</p> <p>さらに、本公園はマラソンやサイクルロードレース大会の会場として活用されており、指定管理者はこれらの大会の主催者と協力し、スムーズな運営ができるよう施設の利用調整や開催支援を行っている。</p> <p>参画と協働による公園の活性化にも努めており、利用者の意見交換の場である「夢企画会議」や「管理運営協議会」の運営や、園内で活動する6つのボランティア団体の支援に努めている。特に、令和2年度には管理運営協議会から「花壇見守り会」と「四季の会」が発足し、参画と協働による公園の維持管理運営に努めている。</p> <p>イベント参加者のアンケートにおける「イベントの感想」では、「満足」「やや満足」と回答した割合が9割を超えており、高い満足度を示している。一方で公園利用者アンケートでは「公園の情報発信の充実度」が他項目と比較して低くなっている。</p>
利用状況	<p>公募時に提案した目標年間来園者数(年間45万人)に対して、年度別来園者数は、令和2年度は44万人、令和3年度は43万人、令和4年度は46万人となっている。</p> <p>令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、施設の閉鎖やイベントの中止などがあったことから低い水準となっているが、令和4年度に目標を達成している。</p>
収支状況	<p>植栽管理研修、維持管理作業研修及び遊具点検技能修等を通じ、維持管理業務の直営化と効率化を図り、経費削減に努めている。</p>

運営体制	維持管理及び運営業務に必要な資格または研修を受講した職員を配置するなど、適切な運営体制が取られている。公園利用者アンケートによると、「職員のお客さまへのおもてなし」において他の項目と比較して高い満足度を得ており、職員の接客対応が評価できる。 また、日常の巡視、点検等により危険箇所の早期発見と迅速な修繕を行うとともに、苦情や要望を所内及び関係機関と協議・対応し、事故等の未然防止に努めている。
その他	—

## 2 残りの指定期間における改善点

<p>「評価項目ごとの評価」を踏まえると、指定管理者は、利用者ニーズに即したイベント、有資格者の配置を行っており、利用者の満足度も高い。これらのことから、適切に業務を実施していると評価できる。</p> <p>しかし、公園の管理運営において、広報に関する満足度が他項目と比較して低くなっている。SNSでの情報発信は積極的に行っているが、ホームページの施設紹介写真やデザインが更新されておらず、利用者に魅力的な内容となっていないと考えられる。提案時ホームページのリニューアルを計画していることから、今後のホームページの改善、充実を期待する。</p> <p>また、ばら園は、令和元年まで「ひょうごローズクラブ」との協働により維持管理を実施していたが、令和2年にローズクラブが解散した。現在、花殻の摘み取りはボランティアと協働により実施しているが、あり方検討会など広く県民の意見の議論をふまえ、新規のボランティアの育成や地域連携等を期待する。</p>
---

## 3 次期公募に向けた検討課題等

<p>県においては、ホームページのリニューアルやSNSの充実など利用者のニーズに合わせた情報発信を行うこと、また、令和4年度に開催した「県立都市公園のあり方検討会」の提言も踏まえ、現在も活発に行っている参画と協働による活動の継続的支援に取り組むことが重要課題となっていることに留意のうえ、今後の公募あたっていただきたい。</p>
--

### (参考) 県立都市公園指定管理者候補者選定委員会委員

氏名	主な役職	備考
平田 富士男	兵庫県立淡路景観園芸学校 兵庫県立大学大学院教授	委員長
赤澤 宏樹	兵庫県立大学教授	
鷗木 千加子	甲南大学教授	
宇田 名保美	中小企業診断士	
松田 竜一	兵庫県まちづくり部次長	